



スポーツ開発・支援センター 年報

2018

第15巻

びわこ成蹊スポーツ大学
スポーツ開発・支援センター

目 次	1
-----	---

2018年度 事業報告

1. 自主事業	3
1) びわスポキッズプログラム事業	5
びわスポキッズプログラム運営会議	7
びわスポキッズプログラム巡回指導	8
びわスポキッズフェスティバル	11
第39回びわスポキッズフェスティバル in 甲賀	12
第40回びわスポキッズフェスティバル in 大津	13
第41回びわスポキッズフェスティバル in 草津	14
びわスポキッズリーダー研修会・登録会	15
「びわスポキッズプログラム」の科学的効果検証	16
2) 公開講座事業	17
びわスポ水中ウォーキング教室（前期・後期）	19
びわスポ水泳教室（前期・後期）	20
びわスポキッズ水球教室（前期）	21
3) 課外活動支援事業	23
壮行会・報告会	25
世界大会出場壮行会兼激励会並びに国際大会出場報告会	
一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）	27
一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI（KCAA）	28
2. 受託事業	29
1) 産官学連携事業	31
受託研究	
「Jリーグ」が主催する公式試合のスタジアム観戦者に関する調査	33
2) 補助事業	35
平成30年度滋賀県競技力向上対策事業における対象団体として 補助金交付（陸上競技部、ウェイトリフティング部）	37

3.地域貢献事業	39
1)長浜市・びわこ成蹊スポーツ大学連携事業	41
長浜ジュニアアスリート育成プログラム	43
第2回ながはまスポーツキッズフェスティバル	47
(第38回びわスポキッズフェスティバルin長浜)	
2)指導者・学生派遣事業	49
びわ湖レイクサイドマラソン 走路員等ボランティア派遣	51
指導者・学生派遣事業一覧	53
3)施設開放事業	55
一般開放 アクアセンター	57
一般開放 トレーニングルーム	58
トレーニングルーム報告	59

1. 自主事業

- 1) びわスポキッズプログラム事業
- 2) 公開講座事業
- 3) 課外活動支援事業

1) びわスポキッズプログラム事業

びわスポキッズプログラム運営会議

びわスポキッズプログラム巡回指導

びわスポキッズフェスティバル

びわスポキッズリーダー研修会・登録会

「びわスポキッズプログラム」の科学的効果検証

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム運営会議
担当	中山 亮
実施日	2018年 5月 28日(月)
対象者数	2018年度 びわスポキッズプログラム運営会議委員および関係者31名
場所	大阪成蹊学園セミナーハウス2階 セミナーホール
費用	
実施形態	会議
概要 (活動内容) 成果	<p>びわスポキッズプログラムの諮問会議。</p> <p>本事業に協賛・後援の団体代表者から選出の運営委員が集まり、2017年度事業実績報告及び2018年度事業計画と今後の運営方針について協議した。また、本学の入口学長より、10年間びわスポキッズプログラムに協賛いただいた企業の滋賀トヨペット株式会社、株式会社平和堂、エールコーポレーション株式会社、ミズノ株式会社、キリンビバレッジバリューベンダー株式会社5社に感謝状を贈呈した。その他、2017年度は新たに、JFA公認キッズリーダー講習会をキッズリーダー研修会の一環として学内で実施した旨の報告があった。</p> <p>また、学生キッズリーダーの4年次生 山中楓から、びわスポキッズプログラムの活動報告と、秋武寛准教授からキッズプログラム巡回指導対象園での体力測定、研究報告があった。協議事項の論点となったのは、BIWAKO SPORTS CLUBへの巡回指導30回の業務委託による学生指導者養成について、運営委員からは、指導者養成は大学で行うもので他団体に業務委託することではない旨の意見があった。結果として、本会議では決定せず、学長あずかりとし、後日協議の上、決定することとなった。</p>

記録(写真)



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズプログラム巡回指導
担当	学生キッズリーダー、中山 亮
実施日	2018年5月～2019年3月 全56回
対象者数	年少(3歳児)、年中(4歳児)、年長(5歳児) 2,292名
場 所	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市 志賀北幼稚園、比良保育園、志賀南幼稚園、仰木の里幼稚園、堅田幼稚園、 仰木幼稚園、真野幼稚園、雄琴幼稚園、真野北幼稚園、仰木の里東幼稚園、 下阪本幼稚園 ・高島市 大師山さくら園、古賀保育園、高島こども園 ・草津市 さくら坂保育園、さくら坂南保育園、さくら坂東保育園
費用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	

記録(写真)



表1-1.2018年度巡回指導一覧

NO	日付	実施園名	時間	対象	対象 人数(名)	メイン リーダー (名)	サブ リーダー (名)	備考
1	5/21(月)	志賀南幼	10:30-11:15	5歳児	35	1	2	終了
2	5/23(水)	真野北幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	41	1	4	終了
3	5/25(金)	真野幼	9:30-11:15	5歳児、4歳児	58	1	3	終了
4	5/28(月)	志賀北幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	66	1	2	終了
5	5/29(火)	仰木幼	10:30-11:15	4歳、5歳児	12	1	1	終了
6	6/1(金)	仰木の里東幼	9:30-11:00	4歳、5歳児	38	1	4	終了
7	6/7(木)	仰木の里幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	36	1	4	終了
8	6/11(月)	下阪本幼	9:30-11:30	5歳児	50	1	2	終了
9	6/12(火)	雄琴幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	29	1	2	終了
10	6/13(水)	比良保	9:30-11:15	5歳児、4歳児	50	1	4	終了
11	6/14(木)	志賀北幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	66	1	4	終了
12	9/5(水)	真野北幼	9:30-11:15	5歳児、4歳児	41	1	1	終了
13	10/9(火)	仰木の里幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	36	1	3	終了
14	10/15(月)	さくら坂	10:00-11:30	4歳、5歳児	38	1	2	終了
15	10/16(火)	高島こども園	10:00-10:45	5歳児	14	1	1	終了
16	10/22(月)	真野北幼	9:30-11:15	5歳児、4歳児	41	1	0	終了
17	10/23(火)	比良保	9:30-11:15	5歳児、4歳児	50	1	2	終了
18	10/24(水)	堅田幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	63	1	2	終了
19	10/25(木)	志賀南幼	9:30-11:15	5歳児	35	1	3	終了
20	10/28(日)	ヴォーリス学園	10:15-12:00	4歳、5歳児	105	1	2	終了
21	10/29(月)	志賀北幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	66	1	2	終了
22	10/30(火)	雄琴幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	29	1	3	終了
23	11/2(金)	古賀保育園	10:00-10:45	4歳、5歳児	10	1	2	終了
24	11/5(月)	下阪本幼	9:30-11:30	5歳児	50	1	3	終了
25	11/7(水)	高島こども園	10:00-10:45	5歳児	14	1	4	終了
26	11/9(金)	大師山さくら園	9:45-11:30	4歳児	48	1	4	終了
27	11/12(月)	堅田幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	63	1	2	終了
28	11/15(木)	仰木の里東幼	9:30-11:00	4歳、5歳児	39	1	4	終了
29	11/19(月)	仰木幼	10:30-11:15	4歳、5歳児	12	1	2	終了
30	11/26(月)	さくら坂南	10:00-11:30	4歳、5歳児	33	1	1	終了
31	11/30(金)	仰木の里東幼	9:30-11:00	4歳、5歳児	38	1	3	終了
32	12/3(月)	高島こども園	10:00-10:45	5歳児	14	1	3	終了
33	12/5(水)	下阪本幼	9:30-11:30	4歳児	42	1	3	終了
34	12/6(木)	志賀南幼	9:30-11:15	4歳児	37	1	4	終了
35	12/7(金)	真野幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	58	1	4	終了
36	12/10(月)	志賀北幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	66	1	2	終了
37	12/12(水)	古賀保育園	10:00-10:45	4歳、5歳児	10	1	3	終了
38	12/14(金)	比良保	9:30-11:15	5歳児、4歳児	50	1	4	終了
39	12/17(月)	仰木幼	10:30-11:15	4歳、5歳児	12	1	2	終了
40	12/18(火)	さくら坂南	10:00-11:30	4歳、5歳児	33	1	2	終了
41	1/8(火)	雄琴幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	29	1	2	終了
42	1/9(水)	古賀保育園	10:00-10:45	4歳、5歳児	10	1	1	終了
43	1/10(木)	大師山さくら園	9:45-11:30	4歳児	48	1	2	終了
44	1/11(金)	仰木の里幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	36	1	4	終了
45	1/15(火)	比良保	10:00-10:45	4歳児	23	1	2	終了
46	1/16(水)	下阪本幼	9:30-11:30	4歳児	42	1	1	終了
47	1/17(木)	志賀南幼	9:30-11:15	4歳児	37	1	2	終了
48	1/18(金)	さくら坂	10:00-11:30	4歳、5歳児	38	1	3	終了
49	1/21(月)	真野幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	58	1	4	終了
50	2/13(水)	さくら坂東保	10:00-11:30	4歳、5歳児	30	1	4	終了
51	2/18(月)	大師山さくら園	9:45-11:30	4歳児	48	1	4	終了
52	2/22(金)	仰木の里東幼	9:30-11:00	4歳、5歳児	39	1	2	終了
53	2/25(月)	仰木の里幼	9:30-11:15	3歳・4歳児	43	1	3	終了
54	2/26(火)	雄琴幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	29	1	4	終了
55	2/27(水)	もりの風こども園	9:45-11:15	5歳児	63	1	4	終了
56	2/28(木)	志賀北幼	9:30-11:15	3歳、4歳、5歳児	91	1	7	終了
合計					2,292	56	154	






表1-2. 巡回指導の推移

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	合計
	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	
開催数 (回)	6	41	49	45	55	44	47	58	60	56	461
対象者 (名)	266	1,433	2,064	2,133	2,361	1,589	2,113	2,210	2,155	2,267	18,591
リーダー (名)	18	144	173	122	197	155	192	226	256	203	1,686

表1-3.2018年度中止となった巡回指導

NO	日付	実施園名	時間	対象	対象 人数(名)	メイン リーダー(名)	サブ リーダー(名)	中止理由
1	6/18(月)	堅田幼	9:30-10:15	5歳児	62	1	3	園の都合により
2	9/18(火)	堅田幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	62	1	3	台風により
3	10/4(木)	仰木幼	10:30-11:15	4歳、5歳児	9	1	4	猛暑による 園行事変更により
4	10/5(金)	比良保	9:30-11:15	5歳児、4歳児	50	1	4	猛暑による 園行事変更により
5	10/10(水)	真野幼	9:30-11:15	4歳、5歳児	58	1	2	猛暑による 園行事変更により
6	10/18(木)	志賀南幼	9:30-11:15	5歳児	35	1	4	猛暑による 園行事変更により
7	11/1(木)	大師山さくら園	9:45-11:30	4歳児	48	1	1	園の都合により
8	12/19(火)	大師山さくら園	9:45-11:30	4歳児	48	1	0	園の都合により
9	1/23(水)	もりの風こども園	9:45-11:15	4歳児	64	1	3	インフルエンザによる学級閉鎖のため
合計					253	9	24	




スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズフェスティバル
担当	学生キッズリーダー、中山 亮
実施日	①2018年9月1日(土)、②10月14日(日)、③10月27日(土)、④11月18日(日)
対象者数	年中(4歳児)～小学3年生 延べ732名
場所	①長浜市(湖北)、②甲賀市(湖南)、③大津市(湖西)、④草津市(湖南)
費用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>キッズフェスティバルは年3～4回200名程度の子どもたちを集めて、滋賀県各地で運動遊びを実施するイベントで、普段、巡回指導で回れない地域を含めキッズプログラムの輪を県内全域で広めることを目的として開催している。</p> <p>2018年度は、県内各地でキッズフェスティバルを合計4回開催し、延べ730名の子どもに対して指導を行った。</p> <p>また、キッズフェスティバルの事前には、毎回、参加するキッズリーダーが集まり打ち合わせを行った。</p> <p>9月1日(土)のキッズフェスティバルは、長浜市との共催事業として開催し、長浜市からの委託事業費90万円を基に運営を行った(※P47参照)。</p> <p>※各フェスティバルの開催内容は、次頁以降の報告書参照。</p> <p>9月1日(土)開催のながはまスポーツキッズフェスティバルは、P47に地域貢献事業として掲載。</p>
記録(写真)	
     	




スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズフェスティバル in 甲賀
担当	学生キッズリーダー、中山 亮
実施日	2018年10月14日(日) 13:00～15:15
対象者数	年中(4歳児)～小学3年生 延べ 103名
場所	水口スポーツの森陸上競技場 〒528-0051 甲賀市水口町北内貴230番地
費用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>指導者：びわこ成蹊スポーツ大学キッズリーダー 41名 特別ゲスト：滋賀ユナイテッドベースボールクラブ 松本匡監督、成本年秀コーチ ほか9名 ※ぽんぽこちゃん(甲賀市マスコットキャラクター) ※ユナ丸(滋賀ユナイテッド公式マスコットキャラクター)</p> <p>開会式：びわこ成蹊スポーツ大学 学長 入口 豊(挨拶) 甲賀市長 岩永 裕貴氏(挨拶) 甲賀市教育委員会教育長 山下 由行氏 ヴォーリズ学園 副学園長 松田 保氏(運営委員)</p> <p>報告 甲賀市での開催は今回初めてで、子どもたちや、保護者の方々も、びわスポキッズプログラム(運動遊び)がどのようなものか、大変興味を持たれている様子が見えた。当日は、特別ゲストとして、プロ野球独立リーグ「滋賀ユナイテッドベースボールクラブ」の監督・コーチ・選手11名をお招きした。開会式では、本学学長と甲賀市長岩永様の挨拶の後に、滋賀ユナイテッド寺内選手、油井選手、杉本選手に、ピッチングおよび遠投のデモンストレーションを行っていただいた。子どもたちからは、選手のプレーを目の前に「わー、すごい」というような歓声が上がっていた。</p> <p>今回のびわスポキッズフェスティバルは、特別企画として全学年で野球にちなんだ運動あそびを実施した。実施プログラムには、鬼退治と題した、鬼の絵を的にしたボール投げや、軟式テニスボールを使ったホームラン競争、マジ投げなるピッチング練習などなど、学生が考えたバラエティー豊かな楽しい遊びを90分間実施した。フェスティバル終了後の保護者アンケートの中では、「普段運動をあまりしないので球技などでとても楽しんでいます」、「2年前地元の東近江で参加しました。次も思っていたらなかなか地元でなく、今回迷わず申し込みました。本当に良かったです」、「学生の方が親切で良かったです。学生の方が運動を楽しんでいることが伝わってきました。それが一番の収穫でした」などの良い意見をいただいた。その一方で「野球選手が来て下さっているの、野球も教えてほしいかったです」とのご意見をいただいた。</p> <p>その他、昨年度から実施の子どもの運動に関する研究(心拍数、運動量の計測)を、本学の秋武准教授が年中・年長を対象に実施した。今後、この結果をびわスポキッズプログラムの内容に活かし、滋賀県の子どもたちに還元していきたいと考えている。</p>
記録(写真)	  

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズフェスティバル in 大津
担当	学生キッズリーダー、中山 亮
実施日	2018年10月27日(土) 10:00～12:20
対象者数	年中(4歳児)～小学3年生 延べ 233名
場所	びわこ成蹊スポーツ大学 サッカーフィールド、陸上フィールド 〒520-0503 大津市北比良1204
費用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>指導者：びわこ成蹊スポーツ大学キッズリーダー 60名 特別ゲスト：加地 亮 氏(元サッカー 日本代表) 開会式：びわこ成蹊スポーツ大学学長 入口 豊(挨拶) びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センター センター長 石井 智 滋賀県県民生活部スポーツ局副局長 辻 睦弘 氏(運営委員) 一般財団法人滋賀陸上競技協会副会長 井上 彌彦 氏(運営委員) ミズノ株式会社営業本部関西支社 関西圏第1営業部次長 池野 季紀 氏</p> <p>報告 当日は、朝5時頃まで雨が降り、グラウンドコンディションが危ぶまれる状況であったが、開会式前には雨と気温が上がり、秋晴れの日となった。今回は、特別ゲストとして元サッカー日本代表でディフェンダーとして活躍された加地亮氏をお招きした。開会式では加地氏による、リフティングとキックによるデモンストレーションを行っていただいた。子どもたちは、その高い精度のキックとリフティング、ボールコントロールを食い入るように見ていた。また今回は、プログラムの中にボールを使用したサッカーにつながる運動遊びを多く取り入れ実施した。加地氏は気さくな方で、挨拶や会話の中に笑いを入れながら、子どもや学生キッズリーダーを和ませ、自然な形で各学年別のグループの中に入り子どもたちと運動遊びを楽しんでいた。参加した保護者からは、「ボール投げなどが苦手なことも学生リーダーさんと楽しくできていて、家でも真似したいと思いました」、「広いグラウンドで思いっきり、身体を動かすことができ、とても楽しい時間を過ごすことができました」などたくさんの方のよい意見をいただいた。その一方で「最後の抽選会が長く、いらないと感じた。運動で楽しんでそのままの気分が終わる方がよかった」、「説明が丁寧すぎて長い」などの意見をいただいた。これらの意見を今後に活かし、キッズフェスティバルの運営改善と学生キッズリーダー養成に力を入れていきたい。</p> <p>その他、昨年度から実施の子どもの運動に関する研究(心拍数、運動量の計測)を、本学の秋武准教授が年中・年長を対象に実施した。今後、この結果をびわスポキッズプログラムの内容に活かし、滋賀県の子どもたちに還元していきたいと考えている。</p>
記録(写真)	  

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズフェスティバル in 草津
担当	学生キッズリーダー、中山 亮
実施日	2018年11月18日(日)
対象者数	年中(4歳児)～小学3年生 延べ188 名
場 所	草津市烏丸半島多目的広場 〒525-0001 草津市下物町1091
費 用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>指導者: びわこ成蹊スポーツ大学キッズリーダー 44名 開会式: びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ開発・支援センター センター長 石井 智(挨拶)</p> <p>草津ライオンズクラブ 前会長 兼 エールコーポレーション株式会社会長 白井 幸則 氏(運営委員) 草津ライオンズクラブ青少年交流委員長 岸本 成郷 氏 一般財団法人滋賀陸上競技協会副会長 井上 彌彦 氏(運営委員) ヴォーリズ学園副学園長 松田 保 氏(運営委員)</p> <p>報告 会場である烏丸半島多目的広場では、毎年イナズマロックフェスティバルが開催される広大な芝広場で、全面を活かしての開催は、子どもたちの運動量、安全性ともに確保できる絶好のフェスティバル環境であった。 当日は、天候に恵まれ、青空に琵琶湖と比叡山が見える絶好のロケーションの中、多目的広場の芝の上で、子どもたちは笑顔いっぱいキッズプログラム(運動遊び)を楽しんでいた。また、隣接する琵琶湖博物館では家族ふれあいサンデー(滋賀県在住者常設展示場無料日)が開催されており、草津市烏丸半島で1日をとおして楽しめるイベントを提供することができた。 参加した保護者からは、「人見知りなので、なかなか自分から行こうとせず、終了20分くらいから、学生さんに話しかけられ、笑えるようになりました」、「学生の皆さんは元気よく、いつも対応していただき、素敵だなと感じています。チーム戦などはいいいプログラムでした」などの意見をいただいた。その一方で「サブリーダーの学生が、子どもに接しすぎて、子どもが話を聞いていない。全体を盛り上げるように」などの意見をいただいた。今後改善に努めたい。 その他、今年度は、事情により草津市小学生への募集チラシの個別配布ができなかった。このため募集対策として、協賛企業様に協力を願い、平和堂店舗、滋賀トヨペット店舗、イオンモール草津、草津市スポーツ施設に多くのチラシを配置したこと、また、第1回～第3回参加者に対して、PRしたこともあり、結果としては200名を超える申込者を集めることができた。申込者の内訳をみると、昨年度とは異なり、草津市在住参加者が少なく、その他地域参加者が多い逆転現象が起こった。</p>
記録(写真)	  

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズリーダー研修会・登録会																							
担当	中山 亮																							
実施日	①2018年4月26日(木) ②5月21日(月) ③9月29日(土) ④2019年3月23日(土)																							
対象者数	びわスポキッズリーダー 361名																							
場所	コモンズ1階 多目的トレーニングルーム他																							
費用	無料																							
実施形態	研修																							
概要 (活動内容) 成果	<p>学生キッズリーダーの資質向上のために、指導者研修会を開催している。研修会では、学内外の講師から、指導者としての心構え、幼児・児童への指導法、発育発達、子どもの体力、安全配慮、リスク管理等について研修を受けている。今年度は①2018年4月26日(木)、②5月21日(月)、③9月29日(土)、④2019年3月23日(土)の日程で開催し合計361名の学生が参加した。</p> <p>また、滋賀県サッカー協会から講師をお招きして③④の日程で、JFA公認キッズリーダー講習会を2回実施した。これによりJFA公認キッズリーダーの有資格者を巡回指導・キッズフェスティバル現場に派遣している(表2)。</p> <div>表2.2018年度キッズリーダー研修会</div> <table><tr><th rowspan="2">NO</th><th rowspan="2">日時</th><th rowspan="2">研修内容</th><th>参加数</th></tr><tr><th>(名)</th></tr><tr><td>1</td><td>4月26日</td><td>・巡回指導の主な流れ(指導映像) ・キッズ年代の指導における基本知識</td><td>250</td></tr><tr><td>2</td><td>5月21日</td><td>・子どもの運動指導、指導上の注意点、指導ポイントについて</td><td>11</td></tr><tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">9月29日</td><td>・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本</td><td rowspan="2">20</td></tr><tr><td>・実技：運動あそび3種目を体験</td></tr><tr><td rowspan="2">4</td><td rowspan="2">3月23日</td><td>・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本</td><td rowspan="2">80</td></tr><tr><td>・実技：運動あそび3種目を体験</td></tr></table>	NO	日時	研修内容	参加数	(名)	1	4月26日	・巡回指導の主な流れ(指導映像) ・キッズ年代の指導における基本知識	250	2	5月21日	・子どもの運動指導、指導上の注意点、指導ポイントについて	11	3	9月29日	・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本	20	・実技：運動あそび3種目を体験	4	3月23日	・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本	80	・実技：運動あそび3種目を体験
NO	日時				研修内容	参加数																		
		(名)																						
1	4月26日	・巡回指導の主な流れ(指導映像) ・キッズ年代の指導における基本知識	250																					
2	5月21日	・子どもの運動指導、指導上の注意点、指導ポイントについて	11																					
3	9月29日	・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本	20																					
		・実技：運動あそび3種目を体験																						
4	3月23日	・講義：JFA公認キッズリーダー講習会：サッカーにとられない、U6キッズの指導についての基本	80																					
		・実技：運動あそび3種目を体験																						

記録(写真)



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	「びわスポキッズプログラム」の科学的効果検証
担当	秋武寛、石井智、北村哲、白木孝尚、高松 靖、藤林献明、中山亮
対象者数	1. びわキッズフェスティバル 4歳・5歳児 約410名（合計4回分） 2. 滋賀県大津市立S幼稚園66名 3. 滋賀県大津市立S幼稚園66名
実施日、場所	1. 9月 1日（土）神照運動公園（長浜市） 10月14日（日）水口スポーツの森 陸上競技場（甲賀市）、 10月27日（土）本学サッカーフィールド（大津市） 11月18日（日）烏丸半島 多目的広場（草津市） 2. 10月29日（月）滋賀県大津市立S幼稚園 3. 7、11、12、1月滋賀県大津市立S幼稚園
概要 （活動内容） 成果	<p>1. びわスポキッズフェスティバル</p> <p>1) 対象 「びわキッズフェスティバル」の測定協力は、保護者および子どもから同意を得た4～8歳までの幼児、児童を対象とした。</p> <p>2) 測定項目 身体活動量の測定は、3軸方向の加速度計であるActiGraph wGT3X-BTを用いて運動強度、歩数を測定した。身体活動量の測定は、運動強度および1分間に歩いた歩数を測定した。心拍数の測定は、心拍数記録装置（Polar社製、OH1、Finland）を用いて、幼児の左上腕部分に固定し、記録した。</p> <p>2. びわスポキッズ巡回指導</p> <p>1) 対象 対象は、S幼稚園の5歳児31名、4歳児35名とした。キッズリーダーは、対象の4、5歳児に楽しい運動プログラムを実施した。</p> <p>2) 測定項目 身体活動量の測定は、3軸方向の加速度計であるActiGraph wGT3X-BTを用いて運動強度、歩数を測定した。心拍数の測定は、心拍数記録装置（Polar社製、OH1、Finland）を用いて、幼児の左上腕部分に固定し、記録した。また運動あそび中は、デジタルビデオカメラを用いて、運動プログラムを撮影した。</p> <p>3. 幼児の運動能力、身体活動量、睡眠、生活習慣の調査</p> <p>1) 対象 対象は、S幼稚園の5歳児31名、4歳児35名とした。キッズリーダーは、対象の4、5歳児に楽しい運動プログラムを実施した。</p> <p>2) 測定項目 運動能力は、量的・質的な評価を用いた運動能力の測定を実施した。身体活動量の測定は、3軸方向の加速度計であるActiGraph wGT3X-BTを用いて、入浴、水泳以外24時間一週間連続して測定した。睡眠の量的な評価は、保護者に幼児の起床時刻、就寝時刻を1分単位で記録用紙に一週間連続して記入してもらった。また睡眠の質的な評価は、3軸方向の加速度計であるActiGraphを用いて、睡眠中一週間連続して測定した。</p>
記録（写真）	 

2) 公開講座事業



びわスポ水中ウォーキング教室（前期・後期）

びわスポ水泳教室（前期・後期）

びわスポキッズ水球教室（前期）



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポ水中ウォーキング(前期・後期)
担当	白木孝尚・神田恵太
実施日	2018年5月1日(金)～2019年1月11日(金)
対象者数	前期 23名 後期 23名
場所	アクアセンター
費用	参加費 8,000円
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>公開講座「びわスポ水中ウォーキング教室」は、地域貢献を目的とし、地域住民が健やかな生活を送るための健康維持・増進プログラムを提供している。</p> <p>主なプログラムの内容としては、体操(5分)、ウォーミングアップ(5分)、筋力強化・ストレッチ(15分)、ウォーキング(30分)、クーリングダウン・リラクゼーション(5分)であった。ウォーキングの内容は主に股関節周りの可動域を広げるもの、脚筋力の維持・向上を図るもの、運動時のバランスを養うものとした。</p> <p>前期・後期とも約3ヶ月間、参加者(地域住民)と学内の教員・補助学生が同じ教室に参加し、水中ウォーキングのプログラムを実施していく中で、参加者が自主的に自らの健康に気づくことができ、また仲間と交流することができたと考えられた。</p> <p>本年度の開催には外部から指導者に来ていただき、毎回来ていただいているリピーターさんにも新しい視点から水中ウォーキングの方法や楽しさを教わることもできた。</p>



記録(写真)



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポ水泳教室(前期・後期)
担当	村瀬陽介、神田恵太
実施日	2018年 5月 15日(火)～ 2018年 12月 11日(火)
対象者数	前期 6 名 後期 6 名
場 所	アクアセンター
費 用	参加費 6,000円
実施形態	実技
概要 (活動内容)	<p>本講座は、地域住民に水泳の機会を提供することを主要な狙いとした。</p> <p>前回までは主にクロールと平泳ぎの指導をしていたが、背泳ぎとバタフライもプログラムに取り入れ水泳の基本となる4泳法の取得を目指した。初心者ではクロールの呼吸方法の習得に時間を要する場合もあるが、背泳ぎでは呼吸が容易である。一方、背泳ぎでは仰向け姿勢でバランスをとることが課題となる。水泳に親しむことを狙いとした場合、個人が習得しやすい泳法を選択できるようにすることは大切なことである。</p> <p>今回来ていただいた参加者の皆様は、本講座で泳ぎ方を習い、日頃行っている一般開放で練習をしている会員さんもおられ、上達が速かったのではないかと思います。</p> <p>また泳いでいるところをビデオにとり、その場で映像を見ながらアドバイスしたことが好評であった。</p> <p>今後参加者が多くなれば、それぞれのレベルにあった指導体制を整えられるようにしたい。</p>
成果 記録(写真)	 

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわスポキッズ水球教室(前期)
担当	村瀬陽介、神田恵太
実施日	2018年 5月 16日(水)～ 2018年 7月 18日(水)
対象者数	年長(4歳児)～小学5年生 21名
場所	アクアセンター
費用	参加費 5,000円
実施形態	実技
概要 (活動内容)	<p>本講座は、近隣に民間のスイミングスクールがない本学周辺の子供たちに水泳に親しむ機会を提供することを目的として、昨年に続き第2回目の開催を行った。前回と同じく小学校低学年以下の子供たちが楽しんで参加できるように、ボールゲームの要素も取り入れたプログラムとするため、水球教室とした。</p> <p>プログラムは泳ぐ練習とボールゲームの二つに分かれて行い、泳ぐ練習では、伏し浮き、バタ足の練習から、面かぶりクロール、呼吸、クロールの練習へと展開した。ボールゲームではボールの投げ方の練習、ゴールに向かってシュート、二人でボールを運ぶ、チームでボールを運ぶ、半面コートでのゲームなどを行った。</p> <p>初回時から泳ぐことができたグループと、泳ぐことができなかったグループに分け、それぞれのペースで練習を行った。</p> <p>今回の教室も、前回と同じく怖くて顔を水に浸けることができない参加者も、友達とボールを追いかけるうちに顔に水がかかることが気にならなくなり、最後には潜ったり水に浮かんだりできるようになっていた。泳法の練習のみでは、水に対する恐怖心を取り除くことができない場合もあるが、水球を用いることで克服できるケースがあることが分かった。低年齢の参加者は初回時には保護者と離れることが寂しく、泣く子供もいたが、少しずつ慣れて教室を楽しめるようになっていた。教室全体で欠席率は低く、毎回楽しんで参加している様子であった。</p>
成果 記録(写真)	 

3) 課外活動支援事業



壮行会・報告会
UNIVAS(一般社団法人 大学スポーツ協会)
KCAA(一般社団法人大学スポーツコンソー
シアムKANSAI)

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	壮行会・報告会 1. 第34回世界バトントワーリング選手権大会,アルティメットWFDF2018世界ジュニア大会(19歳以下) 第21回全日本大学軟式野球国際親善大会,香港インターシティ陸上選手権大会 2018アジア大学サッカートーナメント 2. 男子バレーボール1部昇格,女子バスケットボール部個人賞受賞
担当	荒木初廣
実施日	1. 壮行会 2018年 7月30日(月)・報告会 2018年10月2日(火) 2. 報告会 2018年11月 6日(火)
対象者数	—
場所	中央棟2階Z201・Z202
費用	—
実施形態	
概要 (活動内容)	1. 壮行会 2018年7月30日(月) 1)アルティメットWFDF2018世界ジュニア大会(19歳以下) 2年次生 後藤 凪 2)第21回全日本大学軟式野球国際親善大会 3年次生 島川裕太 3)香港インターシティ陸上選手権大会 1年次生 梅津彩香 銀メダル 4)第34回世界バトントワーリング選手権大会 2年次生 田中絵里奈 報告会 2018年10月2日(火) 1)2018アジア大学サッカートーナメント 1年次生 佐藤 昂 ・ 藤松航矢 U-19全日本学生選抜WEST 3位 2)アルティメットWFDF2018世界ジュニア大会(19歳以下) 2年次生 後藤 凪 第6位 3)第34回世界バトントワーリング選手権大会 GENESISの一員として出場し、金メダル受賞 2年次生 田中絵里奈 2. 報告会 2018年11月6日(火) 1)男子バレーボール部 2部優勝・1部昇格 関西大学バレーボールリーグ戦において、2部リーグで優勝し、 創部以来初の1部昇格 2)女子バスケットボール部個人賞受賞 関西女子学生バスケットボール2部リーグ戦において、3年次生土屋琴乃が 得点王を受賞し、4年次生弓場百華が3ポイント王を受賞
成果 記録(写真)	壮行会・報告会をセットで確実に開催した。ただし、陸上競技・サッカーは時間的な余裕がなく、報告会を実施した。 世界大会に出場した学生には、所定の手続きを経て、学園後援会、学園蹊友会、 本学教育振興会から激励金が支給された。

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)
担当	荒木初廣
実施日	2019年3月1日(金) 一般社団法人大学スポーツ協会 登記・発足
対象者数	—
場所	—
費用	年会費 10万円
実施形態	
概要 (活動内容)	<p>2018年4月26日(金)付で、「大学横断的かつ競技横断的統括組織設立準備委員会参加表明書」を提出し、準備委員会、作業部会のメンバーとなることを表明した。第4回までの準備委員会が開催され、2019年3月1日(金)付入会申込書を提出した。</p> <p>2019年3月18日(水)に一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)の社員総会が開催された。</p> <p>スポーツ庁の関わりが不明瞭になり、船出は厳しいと思われる。</p>
成果	成果は法人化された組織がどのように進むのかによる。
記録(写真)	

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI(KCAA)
担当	荒木初廣
実施日	2018年4月1日(日) 一般社団法人大学スポーツコンソーシアムKANSAI登記・発足
対象者数	—
場所	—
費用	年会費 10万円
実施形態	
概要 (活動内容)	<p>2018年3月に開催された設立シンポジウムを経て、法人として歩み始めた。</p> <p>5月26日(日)に社員総会が開催され、2019年3月9日(金)には公開シンポジウムが開催された。</p> <p>同日コンプライアンス研修会や活躍した学生を表彰する式典も開催され、硬式野球部光宗くんが表彰された。</p> <p>関西版UNIVASであるが、関西として独自性を高めて展開している。</p>
成果	着々と法人としての歩みを始めている。
記録(写真)	

2.受託事業

- 1)産官学連携事業
- 2)補助事業

1) 産官学連携事業

受託研究

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	受託研究「Jリーグ」が主催する公式試合のスタジアム観戦者に関する調査
担当	山本達三
実施日	2018年 7月 29日(日)
対象者数	京都サンガ vs 東京ヴェルディ戦観戦者
場所	西京極スタジアム
費用	研究依頼費 291,600円(消費税および地方消費税含む)
実施形態	西京極スタジアムでの京都サンガ観戦者調査(7/29東京ヴェルディ戦)
概要 (活動内容)	<p>1. 研究題目 「Jリーグ」が主催する公式試合のスタジアム観戦者に関する調査</p> <p>2. 研究目的及び研究内容 本調査研究は、Jリーグ全体のトレンドを調べるための基礎資料(京都サンガF.C.のスタジアム観戦者調査)を収集するとともに、クラブ別の具体的な内容(直近の事業評価、判断材料の収集など)に応じた質問項目の作成、調査の実施、結果の分析、報告書およびデータの提供を目的としている。</p> <p>3. 研究期間 2018年5月1日(火) ～ 2019年3月31日(日)</p> <p>4. 分析枠組みおよび調査内容 性別、年齢、居住地、自由裁量所得、サッカー観戦歴、応援チームの有無、サポータークラブとの関わり、会場への所要時間、交通費、同行者数、同行者との関係、購入チケット種別、チケット入手経路、チケット情報の入手先、観戦頻度、DAZN加入状況、観戦動機、ファンコミュニティ・アイデンティフィケーション、観戦勧誘行動、被勧誘行動、チーム・アイデンティフィケーション、サービス評価、満足度、愛着(クラブ、選手、種目、地域)</p> <p>5. 調査方法 【調査日】:2018年7月29日(日) J2リーグ 公式戦 京都サンガF.C. VS. 東京ヴェルディ 【試合開始】:18:00 【調査時間帯】:15:00 集合・調査準備 15:30 調査開始 17:30 調査票配布終了 18:00 調査票回収終了(試合開始) 18:05 集合場所に戻り集計作業 18:15 調査終了 【サンプリング方法】:層化抽出法(20名の調査員が担当エリアに来場した観戦者の性別の年齢を観測し、その構成比率に応じて調査票を配布・回収する)、配布数:500 【調査員】 スポーツビジネスコース学生 20名</p> <p>6. 調査結果 2018年度 Jリーグスタジアム観戦者調査 -京都サンガF.C.の調査結果-として成果物を作成。 2018年度 卒業研究として「Jリーグ観戦者の再観戦意図に関する規定要因の再検討:エスカレーターモデルとPCMステージ間でみた規定要因の比較」「Jリーグ観戦者の意思決定メカニズム:社会的アイデンティティ、消費者関与、愛着からの再検討」報告書を作成。</p>
成果	2018年度 Jリーグスタジアム観戦者調査 -京都サンガF.C.の調査結果-
記録(写真)	

2)補助事業

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	平成30年度滋賀県競技力向上対策事業における対象団体として補助金交付 (陸上競技部・ウエイトリフティング部)
担当	陸上競技部、ウエイトリフティング部、荒木初廣
実施日	陸上競技部 2018年4月1日～10月12日 ウエイトリフティング部 2018年4月1日～11月27日
対象者数	—
場 所	—
費 用	—
実施形態	滋賀県競技力向上対策委員会への申請、交付決定、実績報告、補助金交付
概要 (活動内容)	<p>2018年4月1日付、「平成30年度滋賀県競技力向上対策事業における対象団体の決定通知」の文書を受理。対象競技として、陸上競技、ウエイトリフティングを企業・大学・クラブ支援事業対象に選定され、補助金額各々10万円が支給されることが示された。</p> <p>6月14日に認定式が滋賀県庁で開催され、本学から、入口学長、西村スポーツ開発・支援センター事務部長、荒木スポーツ開発・支援センター付部長が出席した。</p> <p>滋賀県スポーツ振興補助金交付要綱に基づき、補助金の交付申請書を提出し、その後実績報告書を提出し、補助金が交付された。</p> <p>補助金は、大阪成蹊学園に振込入金され、各団体には大学から12月15日に各部の口座に振り込み、事業完了とした。</p>
成果	補助金の獲得として、計20万円
記録(写真)	

3.地域貢献事業

- 1)長浜市・びわこ成蹊スポーツ大学連携事業
- 2)指導者・学生派遣事業
- 3)施設開放事業

1) 長浜市・びわこ成蹊スポーツ大学 連携事業

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	長浜ジュニアアスリート育成プログラム
担当	藤松典子、北村 哲、山田 庸、大西祐司、藤林献明、高松 靖
実施日	2018年6月4日(月)～2019年2月27日(水) ※詳細次項参照
対象者数	1.ジュニアアスリート選考体験会:長浜市小学校 5年生 14名 2.ジュニアアスリートトレーニング:長浜市小学校 3年生 21名 4年生 13名
場所	長浜市民体育館 滋賀県長浜市宮司町1203
費用	
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>概要 長浜市とびわこ成蹊スポーツ大学の連携事業の一環として、2015年度から「長浜ジュニアアスリート育成プログラム」を実施している。長浜ジュニアアスリート育成プログラムは小学5年生を対象とした1.「ジュニアアスリート選考体験会」と、小学3、4年生を対象とした2.「ジュニアアスリートトレーニング」から成っている。</p> <p>いずれの教室も、2024年滋賀国体に向けて滋賀県が主催する、小学校5年生を対象とした「次世代アスリート発掘育成プロジェクト(滋賀レイキッズ選考会)」へ向けた取り組みで、長浜市の地から、次世代を担うアスリートを多数輩出すること、また長浜市のスポーツレベルの底上げを目的として実施している。</p> <p>1. ジュニアアスリート選考体験会について 1) 目的及び実施形態・内容 2018年度は、滋賀レイキッズ選考会1次試験対策として6月4日(月)、6月6日(水)に選考体験会を実施した。また、1次試験合格者を対象に2次試験体験会を8月1(日)に実施した。いずれの日程も、選考会の試験内容(※1※2参照)について、トレーニングやコーチングを専門とする本学担当教員が事前指導し、より良い記録を出せるようコツを伝えるなどのトレーニングを行った。 ※1次試験内容(立ち幅跳び、反復横跳び、ドッジボール投げ、20m往復走) ※2次試験内容(全身反応、眼と手の協応、コーディネーション)</p> <p>2) 実施結果 2018年度次世代アスリート発掘育成プロジェクト(滋賀レイキッズ選考会)において、長浜市から4名(全体42名選考中)が滋賀レイキッズ5期生に選考されることとなった。この4名の内3名はこの選考体験会への参加者である。一定の効果があげられたと考える。</p> <p>2. ジュニアアスリートトレーニング 1) 目的 2018年度は全10回の日程でジュニアアスリートトレーニングを実施した。この教室は、小学校3・4年生を対称としており、長浜市から次世代を担うアスリートの排出と、次年度以降の滋賀レイキッズ試験選考会につながる教室を展開している。滋賀レイキッズ選考会1次試験等で実施する(立ち幅跳び、反復横跳び、ドッジボール投げ、20m往復走)などの試験内容は、成長が早い子どもが優位な結果を収める傾向が多いものの、長浜ジュニアアスリートトレーニングでは、直接体力の向上に働きかけるのではなく、子どもたちが多様な運動を体験することで、子どもの運動調整能力(コーディネーション能力)を向上させることで将来的な伸び代を大きくすることを目的として実施した。</p>

<p>概要 (活動内容) 成果</p>	<p>2)実施内容 (1)運動能力テスト 全10回の日程中、初回と最終回は、本学担当教員が研究活動の一環として作成した、身のこなし(コーディネーション能力)を測るコントロールテストを実施し比較した。この身のこなしテストの「身のこなしに含まれる動き」として、『身体をひるがえす・かわす』『足をさばいて避ける』『よじ昇る』『降りる・着地する』『しゃがむ・くぐる』『跳び越える』『投げる』『捕る・掴む』『動くものを捉える』『バランス』などの10要素を取り入れた内容としている。 テスト結果について8回のトレーニング前と後を比較した結果、男女ともに身のこなしを必要とする種目に向上が見られた(表3、5)。男子においては身長や体重といった成長の要因の関連が少なかったことから、一定のトレーニング成果があったと判断できる(表4)。一方女子においては、「壁キャッチボール」においては身長の伸びが関連しているものの、その他向上した種目には成長要因の関連は見られなかったことから(表6)、男子と同様の一定の効果が得られたと判断できる。</p> <p>(2)トレーニング内容と実施形態 第2回～9回の教室では、小学3年生、4年生に時間を分け、毎回各1時間の教室を実施した。教室を担当した教員は、エアロビックダンス、ダンス、器械体操、テニス、サッカー、陸上競技、トレーニングなどが専門で、教室回数を重ねるにつれて、全身を使用した難易度の高い内容の運動を実施した(表2)。 各回のトレーニング後には、参加したジュニアに対してのアンケートおよび指導者と観察者(トレーニング補助として参加している長浜スポーツ振興財団のスタッフ)において、各メニューの効果検討等も実施した。それらの結果を総合的に分析すると、ジュニアの満足度については3年生の方が高い傾向にあった。参加している人数において4年生の方が少ないことが要因として考えられる。また、指導者のトレーニング開始時の印象として、ステップ、ダンス、跳ぶ、走る、自身の身体をシンプルにコントロールするような運動が苦手な傾向が高い様子である。これらをさらに高めることが今後の伸びしろに大きく関わることから予想されることから重点的にトレーニングする必要があると考えられる。 しかしながら、各回における各メニューの終了時点ではトレーニング中に「即座の習得」が起き、向上していることが調査結果からも把握できることから、多くのテーマについて各1回ずつといった体験的なプログラムであるものの、有効なトレーニングを実施できていると判断できる。</p> <p>3. 今後の課題 体験型のトレーニングプログラムとして一定の効果が見られたことから、このプログラムの妥当性が得られてと考えられ、びわスポキッズプログラムと同様に本学が持つプログラム資源として考えて良いのではないかと考える。今後もこの形態をベースに行い、より良いプログラムとなるよう進めていきたい。しかしながら、3年生と4年生を分けてトレーニングしていることから、終了時間が21時と遅くなる4年生の参加人数が少ないことが問題である。両学年20名強の教室となるよう、トレーニング会場の使用の仕方や曜日等含め調整及び変更し、来年度実施したい。</p>
-----------------------------	---

表1. 2018年度長浜ジュニアアスリート選考体験会(レイキッズ対策教室)

回	日時	場所	担当教員1	担当教員2
第1回	2018年6月4日 18:30～	長浜市民体育館	藤林	山田
第2回	2018年6月5日 19:00～	長浜市民体育館	藤林	山田
第3回	2018年8月1日 19:00～	長浜市民体育館	北村	

表2. 2018年度長浜ジュニアアスリートトレーニング 担当一覧

3年生

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1
日程	6月27日	7月25日	8月29日	9月5日	9月5日	10月24日	11月7日	12月5日	1月23日	2月27日
担当	藤林・北村	藤林	高松	大西	山田	藤林	北村	北村	山田	藤林
補助学生	計5名 (IS.2、学生3)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.3)	計3名 (IS.3)	計4名 (IS.3、学生1)	計4名 (IS.3、学生1)	計3名 (IS.3)	計8名 (IS.3、学生5)
テーマ	コントロール テスト	自分の身体を意図的にコントロールできる	自分の身体をダイナミックにコントロールできる	自分の身体をダイナミックに意図的にコントロールできる	下肢の自由なコントロールと複合運動ができる	自分の身体をダイナミックにコントロールできる	上肢や用具を自由にコントロールできる	複合運動において自由に身体をコントロールできる	集団の中で課題に合わせて身体をコントロールできる	コントロール テスト
キーワード		リズム	体系的、 重心コントロール	複合的、応用的	方向変換	跳、走	投、グレーディング、 用具	方向変換、複合的	状況判断	

4年生

回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1
日程	6月27日	7月25日	8月29日	9月5日	9月5日	10月24日	11月7日	12月5日	1月23日	2月27日
担当	藤林・北村	藤林	高松	高松	山田	藤林	北村	北村	山田	藤林
補助学生	計5名 (IS.2、学生3)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.2、学生1)	計3名 (IS.3)	計3名 (IS.3)	計4名 (IS.3、学生1)	計4名 (IS.3、学生1)	計3名 (IS.3)	計8名 (IS.3、学生5)
テーマ	コントロール テスト	跳運動の基本的習得	ダイナミックな身体コントロールおよび上半身の使い方の習得	走動作の習得	下肢のコントロールを中心とした複合運動の養成	跳運動の応用的スキルの習得	上肢や用具をコントロール(運動の安定性)しながらの複合運動の養成	上半身、全身、下半身の運動の複合的養成	集団の中で課題に合わせて様々な運動をコントロールできる	コントロール テスト
キーワード		跳	体系的、 重心コントロール	走	走・方向変換	跳ぶ応用的	投・フットワーク	投・複合的	状況判断	

表3. 2018年度身のこなしテストの前後比較—男子結果—

		2018年6月		2019年2月		Wilcoxon検定
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
身長	cm	132.91	5.47	136.03	5.74	$p<.05$
体重	kg	28.03	3.17	30.25	3.48	$p<.05$
垂直跳	cm	29.76	4.15	26.18	9.82	$n.s.$
閉眼片脚(得意脚)	sec	36.99	29.94	29.55	21.79	$n.s.$
20m走	sec	3.87	0.16	3.78	0.23	$n.s.$
20m避け走	sec	7.25	0.70	6.30	0.37	$p<.05$
20mくぐり走	sec	7.30	0.62	6.78	0.61	$p<.05$
20m昇り降り走	sec	6.75	0.63	5.20	1.36	$p<.05$
壁キャッチボール	回	9.05	1.31	9.39	2.38	$n.s.$

 $n.s.$: 非有意

表4. 2018年度身のこなしテストの前後比較—男子変化量の関連性—

	身長 変化量	体重 変化量	垂直跳び 変化量	片脚閉眼 得意脚 変化量	20m走 変化量	20m避け走 変化量	20mくぐり 走 変化量	20m昇り降 り走 変化量	壁キャッチ ボール 変化量
身長変化量	1.00	0.31	0.39	0.30	0.11	-0.07	0.10	0.35	-0.15
体重変化量	0.3	1.00	0.56*	0.11	-0.03	-0.19	0.26	0.36	-0.38

*: $p<.05$

表5. 2018年度身のこなしテストの前後比較—女子結果—

		2018年6月		2019年2月		Wilcoxon検定
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	
身長	cm	129.37	5.02	133.81	5.32	$p<.05$
体重	kg	27.32	3.32	29.60	3.00	$p<.05$
垂直跳	cm	28.22	4.48	27.44	9.17	$n.s.$
閉眼片脚（得意脚）	sec	65.36	32.42	68.59	44.49	$n.s.$
20m走	sec	3.97	0.41	3.85	0.18	$n.s.$
20m避け走	sec	7.99	0.72	6.70	0.48	$p<.05$
20mくぐり走	sec	7.76	0.82	7.30	0.47	$n.s.$
20m昇り降り走	sec	8.45	0.85	6.28	0.87	$p<.05$
壁キャッチボール	回	7.42	1.17	8.54	1.33	$p<.05$

 $n.s.$: 非有意

表6. 2018年度身のこなしテストの前後比較—女子変化量の関連性—

	身長 変化量	体重 変化量	垂直跳び変 化量	片脚閉眼 得意脚 変化量	20m走 変化量	20m避け走 変化量	20mくぐり 走 変化量	20m昇り降 り走 変化量	壁キャッチ ボール 変化量
身長変化量	1.00	0.06	-0.39	-0.29	0.22	-0.08	-0.03	-0.28	0.595*
体重変化量	0.06	1.00	0.18	0.35	0.04	0.13	-0.56	-0.27	-0.23

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	第2回 ながはまスポーツキッズフェスティバル(第38回びわスポキッズフェスティバルin長浜)
担当	中山 亮
実施日	2018年9月1日(土) 16:30~18:30
対象者数	4歳児52名、5歳児48名、1年54名、2年36名、3年18名 合計208名
場所	長浜市民体育館 滋賀県長浜市宮司町1203
費用	無料
実施形態	実技
概要 (活動内容) 成果	<p>指導者: びわこ成蹊スポーツ大学キッズリーダー 47名 長浜北高校ボランティア生徒 6名、長浜バイオ大学学生 1名 長浜市、長浜市文化スポーツ振興事業団、 長浜市スポーツ少年団指導員 多数</p> <p>開会式: 長浜市市民協働部部長 北川 賀寿男 様 (挨拶) 滋賀県県民生活部スポーツ局副局長 辻 陸弘 様 長浜市教育委員会教育長 板山 英信 様 長浜市スポーツ協会副会長 長谷 武二 様 長浜市スポーツ少年団本部長 八田 忠士 様 長浜市スポーツ少年団副本部長 山崎 正直 様 びわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センター センター長 石井 智 (挨拶)</p> <p>報告 長浜市・びわこ成蹊スポーツ大学事業共催、今年度で2回目となる「ながはまスポーツキッズフェスティバル(びわスポキッズフェスティバルin長浜)」を9月1日(土)に開催した。当日は、正午に強い雨が降り神照運動公園のグラウンドコンディションが悪化したことにより、13:30の時点で長浜市民体育館(屋内)での実施を判断した。今回は、特別ゲストとして滋賀県マスコットキャラクター(2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会マスコットキャラクター)キャッフィーがプログラムに参加した。キャッフィーは子どもや保護者に関わらず大人気で、2024 滋賀国体・全国障害者スポーツ大会の啓発に繋がる活動となった。プログラムの中では、無邪気に遊ぶ子どもと学生キッズリーダーたちの姿が何よりも印象的で、多くの笑顔を節々にみることができた。また、長浜市スポーツ少年団の勧誘に向けて、パネル展示や団員募集のチラシの配布を実施した。その他、スポーツ体験ブースとして、わなげやストラックアウト、キックターゲット等の体験時間を昨年より長く設け、より多く子どもたちにスポーツの楽しさを感じていただき、長浜市スポーツ少年団勧誘にむけての活動として取り組むことができた。参加した保護者からは事後アンケートの中で「こんなに生き生きした姿を見るのはとても新鮮でした。スポーツの楽しさをもっと感じさせたいと思った」、「去年も参加しましたがそのおかげでサッカー教室に通うほど運動が好きになりました」などの良い意見を多数いただいた。その一方で、「やはり体育館では思うように動けなかったみたいで残念でした」、「会場内が暑かった。走っている時に他の参加者とぶつからないかひやひやだった」、などの意見があった。屋内実施の際の人数制限やプログラム内容の変更、学生キッズリーダーの研修等改善の余地があり、次回に向けて対策を取りたい。</p>

記録(写真)



2) 指導者・学生派遣事業

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	びわ湖レイクサイドマラソン 走路員等ボランティア派遣
担当	荒木初廣
実施日	2019 年 2月 24日(日)
対象者数	レイクサイドマラソン 参加者総数 2,500名程度・補助学生122名
場 所	大津港・なぎさ公園周辺
費 用	—
実施形態	滋賀県県民生活部スポーツ局びわ湖ロードレース実行委員会事務局要請によるボランティアの募集
概要 (活動内容)	<p>2018年11月7日(水)付「第10回びわ湖レイクサイドマラソン2019の開催にかかる出役について(依頼)」文書により、滋賀県県民生活部スポーツ局堀江氏が来校し、打ち合わせた。陸上競技部60名、サッカー部30名、硬式野球部30名の依頼を受けた。1月12日までに名簿を提出するよう要請を受けた。最終12月21日〆切。説明会は2月15日(金)本学で行うことを確認。交通費は、2,000円。最終的に協力できる人員は、陸上競技部62名、サッカー部30名、硬式野球部30名の計122名。</p> <p>※今後について 今年は雪上実習と日程が重複したこともあり、1年次生の一部が協力できない状況であった。2,000円の交通費で、ボランティアの協力を半ば強制することの限界である。 3クラブに限定し、各部からは好意的な姿勢で甘えているものの、派遣は難しい状況である。主催者からは、好評を得、また好評価をいただいている。本学の学生の姿勢、一生懸命さが伝わっている。現場での対応はよいものの、出務についての管理をすることも困難である。本年度から、「滋賀県スポーツボランティア支援事業」として、滋賀県スポーツボランティアの登録が必要になった。 来年度以降の協力はできないことを伝え、来年度以降は派遣しない。</p>
成 果	学生にとっては、大きな経験になり、意義は大きい。しかしながら、なぜ多人数の派遣をしなければならないのかの意義が見い出せず、来年度以降は協力しないこととする旨通告済である。
記録(写真)	

地域貢献事業


指導者・学生派遣事業一覧

事業名	事業内容	期 間	活動場所	連携機関	派遣内容	備考
第26回びわ湖長浜 ツーデーマーチ	ツーデーマーチ 受付・参加者へのサービス ウォーキングイベント 3,170名参加	5月12日(土) 5月13日(日) 正午～午後4時	長浜市	びわ湖長浜 ツーデーマーチ 実行委員会	学生3名派遣	
滋賀レイキッズ第5期生選考 会	レイキッズ選考会測定補助 滋賀県在住 小学5年生 1,000名程度	6月2日(土)～ 8月5日(日) 全8回 午前午後	滋賀県各地区 体育館	滋賀県スポーツ協会	学生28名派遣	
第17回あおぞらこまつり	遊びコーナー、ゲームの企 画・運営 小野地域の住民 社会就労センターあおぞら	6月2日(土)	社会就労センター あおぞら	社会福祉法人 おおつ福祉会 社会就労センター あおぞら	ボランティアサークル 7名派遣	
みかみっ子キャンプ・ お田植え祭り支援	みかみっ子キャンプ・お田植 え祭り支援	7月21日(土) 7月22日(日)	希望ヶ丘文化公園 野外活動ゾーン	三上学区青少年 育成会議事務局	ボランティアサークル 派遣	猛暑により中止
わにっ子デイキャンプ	お楽しみ活動の実施 (簡単なスポーツ) 和邇学区小学生 100名	7月7日(土)	和邇公園	和邇学区青少年育成 学区民会議	ボランティアサークル4名 地域スポーツコース10名 ※地域コース基礎演習	大雨により中止
わにっ子広場 (寺子屋プロジェクト)	室内ゲーム 室内遊び等の実践指導 和邇学区小学生 100名	8月7日(火) 午前9時～11時30分	和邇小学校体育館	和邇学区社会 福祉協議会	学生5名	猛暑により中止
大学生のお兄さん・お姉さん と一緒にあそび楽しもう！	レクリエーションを実施 新旭学童保育所 トライアングルこどもたち 50名程度	8月24日(金) 午後1時～午後4時	高島市地域 コミュニティーセンター ほおじろ荘内	新旭学童保育所 トライアングル	ボランティアサークル 7名派遣	

事業名	事業内容	期 間	活動場所	連携機関	派遣内容	備考
第6回おごと温泉・びわ湖パノラマウォーク	走路員 全国からの 約1,200名参加	9月8日(土) 9月9日(日)	雄琴湖岸緑地公園出 発 おごと温泉観光公園 ゴール	NPO法人 滋賀県 ウォーキング協会	2日間 述べ21名 派遣	
浅井中・湯田 小学校通学合宿	学習・生活指導 歌やゲームの企画と実施 浅井中学生 湯田小学生 20名	9月27日(木) 9月30日(日) 3泊4日通学合宿	湯田まちづくり センター	長浜市浅井湯田 地域づくり協議会	学生8名派遣	
長浜市あざい お市マラソン	マラソン参加者への 給水業務等 定員 ハーフ 4,000名 10km 1,500名 3km 定員なし	10月7日(日)	浅井文化 スポーツ公園	長浜市あざいお市 マラソン実行委員 会	学生4名派遣	
第5回ほくぶん子どもまつり 開催に伴うボランティアの派 遣	人形劇、おはなし会、 カプラ等 遊びコーナー補助 駐車場整理	12月1日(土) 12月3日(月)	大津市立北部地域 文化センター	大津市北部地域 文化センター	ボランティアサークル 2名派遣	
高島市立 新旭北小学校 サッカー教室	サッカーの基本的なボー ル操作等を身につける 小学3年生 50名 小学4年生 34名	12月3日(月)	高島市立 新旭北小学校 グラウンド	高島市立 新旭北小学校	谷川ゼミ・学校ス ポーツコース中心に 5名派遣	
第10回びわ湖 レイクサイドマラソン2019	走路員他 市民ランナー	2月24日(日)	大津市内 草津市内	滋賀県県民生活部 スポーツ局	陸上競技部 62名 サッカー部 30名 硬式野球部 30名	
大津市＜運動部活動＞ 外部指導者(大学生) 活用事業	課外活動指導補助	堅田中学校 志賀中学校	5月～3月	大津市教育委員会 学校教育課	堅田中学校(各1名) ソフトテニス部 バスケット部 軟式野球部 志賀中学校(各1名) バレー部 ソフトテニス部 軟式野球部	

3) 施設開故事業



スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	一般開放 アクアセンター																																																												
担当	神田 恵太																																																												
実施日	2018年4月1日(日) ～ 2019年3月31日(日)																																																												
対象者数	1,913名																																																												
場所	びわこ成蹊スポーツ大学 アクアセンター																																																												
費用	大人 500円 子ども 200円																																																												
実施形態	地域住民に対して、授業等の空き時間でアクアセンターを利用していただく。																																																												
概要 (活動内容) 成果	<p>2019年度は、地震・台風被害が多数あり、一般開放が出来なく地域の皆様へご迷惑をおかけした時期もありましたが、これまでどおり事故もなく安全に配慮した円滑な管理運営ができた。そのことにより、利用者数の増加に繋がっていると思います。利用者数については以下のとおりです。</p> <table><tr><th colspan="4">一般開放参加者数</th></tr><tr><th></th><th>2016年</th><th>2017年</th><th>2018年</th></tr><tr><td>4月</td><td>205</td><td>178</td><td>132</td></tr><tr><td>5月</td><td>180</td><td>169</td><td>247</td></tr><tr><td>6月</td><td>195</td><td>230</td><td>265</td></tr><tr><td>7月</td><td>237</td><td>237</td><td>255</td></tr><tr><td>8月</td><td>58</td><td>76</td><td>47</td></tr><tr><td>9月</td><td>127</td><td>220</td><td>98</td></tr><tr><td>10月</td><td>180</td><td>154</td><td>211</td></tr><tr><td>11月</td><td>160</td><td>181</td><td>252</td></tr><tr><td>12月</td><td>148</td><td>120</td><td>156</td></tr><tr><td>1月</td><td>30</td><td>85</td><td>91</td></tr><tr><td>2月</td><td>42</td><td>61</td><td>72</td></tr><tr><td>3月</td><td>46</td><td>106</td><td>87</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,608</td><td>1,817</td><td>1,913</td></tr></table> <p>本年度開催の一般開放も安全に配慮した施設管理を行うことができた。そのこともあり利用者人数が増えてきて地域の皆様に地域貢献が出来ているのではないかと思います。今後も日常の点検を怠らず、安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう努めてまいります。</p>	一般開放参加者数					2016年	2017年	2018年	4月	205	178	132	5月	180	169	247	6月	195	230	265	7月	237	237	255	8月	58	76	47	9月	127	220	98	10月	180	154	211	11月	160	181	252	12月	148	120	156	1月	30	85	91	2月	42	61	72	3月	46	106	87	合計	1,608	1,817	1,913
一般開放参加者数																																																													
	2016年	2017年	2018年																																																										
4月	205	178	132																																																										
5月	180	169	247																																																										
6月	195	230	265																																																										
7月	237	237	255																																																										
8月	58	76	47																																																										
9月	127	220	98																																																										
10月	180	154	211																																																										
11月	160	181	252																																																										
12月	148	120	156																																																										
1月	30	85	91																																																										
2月	42	61	72																																																										
3月	46	106	87																																																										
合計	1,608	1,817	1,913																																																										
記録(写真)																																																													

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	一般開放トレーニングルーム																																																																
担当	坂本 和大																																																																
実施日	2018年4月1日(日) ～ 2019年3月31日(日)																																																																
対象者数	1,589名																																																																
場所	びわこ成蹊スポーツ大学 マルチアリーナ1F トレーニングルーム																																																																
費用	利用料 250円																																																																
実施形態	地域住民に対して、トレーニングルームを開放し利用していただく。																																																																
概要 (活動内容) 成果	<p>例年に比べ、特段、利用者数に変化はみられなかったが、開放日数から算出した一日あたりの利用者数は、毎年増加傾向にある。実施頻度は少ないが、健康運動教室を参加を目的に、一般開放を利用される方も増えたことが利用者増加の要因のひとつである。運動教室は今年度より実施した新規事業であり、健康維持・増進を目的に、筋力トレーニングや、エアロビックダンスなどを指導している。利用者の方々と、コミュニケーションをとりながら、リラックスした空間での運動は、運動意欲を高め、肩こりや腰痛が楽になったなどの声を頂くなど成果を得ている。</p> <p>トレーニングルーム利用者数も増え、混雑する場合が多くなっているため、一般開放の初心者講習の頻度も2か月に1回と減らし、利用者数が、過多にならないようにせざるを得ない状況ではあるが、開放時間の調整や、ダンス場などで運動教室の実施することで、快適に一般開放を利用していただけよう、今後とも工夫する方針である。</p>																																																																
記録(写真)	<div><div></div><div><p>一般開放 トレーニングルーム利用者数</p><table><tr><th>月/年度</th><th>2016年</th><th>2017年</th><th>2018年</th></tr><tr><td>4月</td><td>99</td><td>152</td><td>91</td></tr><tr><td>5月</td><td>119</td><td>163</td><td>179</td></tr><tr><td>6月</td><td>154</td><td>248</td><td>191</td></tr><tr><td>7月</td><td>134</td><td>157</td><td>161</td></tr><tr><td>8月</td><td>65</td><td>33</td><td>70</td></tr><tr><td>9月</td><td>114</td><td>116</td><td>166</td></tr><tr><td>10月</td><td>147</td><td>141</td><td>135</td></tr><tr><td>11月</td><td>174</td><td>167</td><td>153</td></tr><tr><td>12月</td><td>136</td><td>130</td><td>140</td></tr><tr><td>1月</td><td>102</td><td>67</td><td>108</td></tr><tr><td>2月</td><td>162</td><td>85</td><td>106</td></tr><tr><td>3月</td><td>162</td><td>179</td><td>89</td></tr><tr><td>合計</td><td>1,568</td><td>1,638</td><td>1,589</td></tr><tr><td>開放日数</td><td>127</td><td>107</td><td>100</td></tr><tr><td>1日あたりの平均利用者</td><td>12.3</td><td>15.3</td><td>15.9</td></tr></table></div></div>	月/年度	2016年	2017年	2018年	4月	99	152	91	5月	119	163	179	6月	154	248	191	7月	134	157	161	8月	65	33	70	9月	114	116	166	10月	147	141	135	11月	174	167	153	12月	136	130	140	1月	102	67	108	2月	162	85	106	3月	162	179	89	合計	1,568	1,638	1,589	開放日数	127	107	100	1日あたりの平均利用者	12.3	15.3	15.9
月/年度	2016年	2017年	2018年																																																														
4月	99	152	91																																																														
5月	119	163	179																																																														
6月	154	248	191																																																														
7月	134	157	161																																																														
8月	65	33	70																																																														
9月	114	116	166																																																														
10月	147	141	135																																																														
11月	174	167	153																																																														
12月	136	130	140																																																														
1月	102	67	108																																																														
2月	162	85	106																																																														
3月	162	179	89																																																														
合計	1,568	1,638	1,589																																																														
開放日数	127	107	100																																																														
1日あたりの平均利用者	12.3	15.3	15.9																																																														

スポーツ開発・支援センター事業報告書

事業名	トレーニングルーム報告																				
担当	坂本 和大																				
実施日	2018年 4月 1日(日) ～ 2019年3月31日(日)																				
対象者数																					
場所	マルチアリーナ1F トレーニングルーム																				
費用																					
実施形態																					
概要 (活動内容) 成果	<p>2018年度は、これまでの業務に加え、トレーニングルーム新規事業として、下記項目を実施した。</p> <p>(1)新入生トレーニング講習会 (2)定期測定会の実施 (3)一般開放運動教室(2018年度トレーニングルーム一般開放概要に記載)</p> <p>新入生トレーニング講習会は、入学後まもなく、全新入生を対象にトレーニング法の実践を4日間に渡り、実施した。安全かつ効果的なトレーニングを習得することを目的に行い、それに伴い、今年度は、トレーニングの相談や利用者の増加などの成果が見られた。今後も、専門的知識や技術を学生が習得するための支援として講習会を実施する方針である。</p> <p>パフォーマンスの測定は、これまで各クラブが自主的にトレーニングルームなどの利用して行っていたが、今年度は、トレーニングルームが主催となり、定期的に測定会を実施した。メリットは、安全性・正確性のある測定と、専門的なフィードバックを行えることである。測定したデータをいかに、競技パフォーマンスに活かすことができるかを、学生自身も考え、理解を深めることにつながった。</p> <p>例年と比較して、利用者数は増加した。定員の増加も関係しているが、競技力向上にはトレーニングも必要という意識も、講習会や測定会を通して高まり、利用者数の増加にもつながったと考えられる。</p> <p>スポーツ大学のトレーニングルームとして、ただ学生が利用するためにあるのではなく、専門的知識を普及させ、競技力向上を支援する管理・運営を今後とも行っていく。</p> <table><tr><th colspan="4">トレーニングルーム利用者推移</th></tr><tr><th></th><th>合計</th><th>平均/月</th><th>平均/日</th></tr><tr><td>2016年度</td><td>40,050</td><td>3,338</td><td>152</td></tr><tr><td>2017年度</td><td>38,377</td><td>3,198</td><td>145</td></tr><tr><td>2018年度</td><td>44,315</td><td>3,693</td><td>168</td></tr></table>	トレーニングルーム利用者推移					合計	平均/月	平均/日	2016年度	40,050	3,338	152	2017年度	38,377	3,198	145	2018年度	44,315	3,693	168
トレーニングルーム利用者推移																					
	合計	平均/月	平均/日																		
2016年度	40,050	3,338	152																		
2017年度	38,377	3,198	145																		
2018年度	44,315	3,693	168																		
記録(写真)	<div><div><p>新入生トレーニング講習会の様子</p></div><div><p>測定会の様子</p></div></div>																				